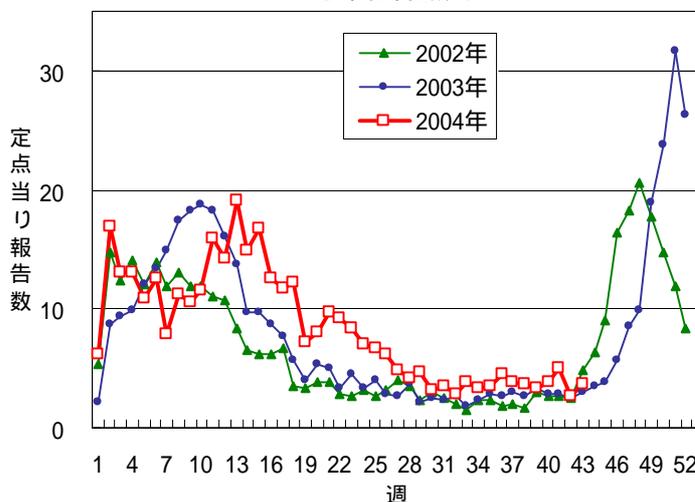


コメント

1. **感染性胃腸炎**
定点当り3.75人とやや増加しています。
2. **水痘**
定点当り1.00人とやや増加しています。

感染性胃腸炎



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去4年間(注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去4年間(注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	-	-	0.01		麻疹(注3)	-	-	-	
咽頭結膜熱	3	0.13	0.03		流行性耳下腺炎	17	0.71	0.90	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	0.54	0.90		RSウイルス感染症	1	0.04		
感染性胃腸炎	90	3.75	3.39	↗	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	24	1.00	1.17	↗	流行性角結膜炎	4	0.50	1.16	
手足口病	5	0.21	0.72		細菌性髄膜炎	-	-	0.04	
伝染性紅斑	1	0.04	0.24		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.07	
突発性発疹	15	0.63	0.85		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.29	
百日咳	2	0.08	0.04		クラミア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	4	0.17	0.08						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.11～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1)過去4年間の同時期平均(定点当り)
(注2)高病原性鳥インフルエンザを除く
(注3)成人麻疹を除く
(注4)オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	45	男性(10歳未満)・O26
5	ウイルス性肝炎	1	6	男性(40歳代)・B型

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	広島市	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻疹(注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(注3)	成人麻疹
			(注1)																				
報告数	広島市	第39週	-	3	10	81	17	8	2	25	1	-	5	-	15	-	-	12	-	3	2	-	-
		第40週	-	2	14	93	5	3	4	20	-	-	7	-	21	-	-	10	-	1	2	-	-
		第41週	-	4	12	120	17	3	2	22	1	1	4	-	11	1	-	6	-	2	6	-	-
		第42週	-	6	10	66	17	1	1	14	2	-	3	-	9	-	-	6	-	-	3	-	-
定点当り	広島市	第39週	-	0.13	0.42	3.38	0.71	0.33	0.08	1.04	0.04	-	0.21	-	0.63	-	-	1.50	-	0.43	0.29	-	-
		第40週	-	0.08	0.58	3.88	0.21	0.13	0.17	0.83	-	-	0.29	-	0.88	-	-	1.25	-	0.14	0.29	-	-
		第41週	-	0.17	0.50	5.00	0.71	0.13	0.08	0.92	0.04	0.04	0.17	-	0.46	0.04	-	0.75	-	0.29	0.86	-	-
		第42週	-	0.25	0.42	2.75	0.71	0.04	0.04	0.58	0.08	-	0.13	-	0.38	-	-	0.75	-	-	0.43	-	-
全国	第41週	0.01	0.13	0.64	2.53	0.45	1.15	0.09	0.70	0.02	0.01	0.24	-	0.79	-	0.02	0.74	0.01	0.04	0.28	-	-	
	第42週	0.01	0.11	0.58	2.49	0.52	1.02	0.10	0.65	0.01	0.01	0.18	-	0.84	-	0.01	0.75	0.01	0.03	0.28	0.01	-	

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻疹を除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
無菌性髄膜炎	14	男	2004/08/09	髄液	エコーウイルス18型
無菌性髄膜炎	0	女	2004/08/25	髄液	エコーウイルス18型
咽頭炎	1	男	2004/09/14	咽頭拭い液	パレコウイルス1型
咽頭炎	9	男	2004/09/23	咽頭拭い液	エコーウイルス6型
熱性痙攣	3	男	2004/08/06	咽頭拭い液	パレコウイルス1型

急性脳炎の発生について

急性脳炎は、全数把握の5類感染症となっています。

このたび、新潟県等で急性の脳症を疑う事案が発生しており、これまでに、発症者は腎機能の低下の状態にあり、スギヒラタケの摂取があったとされています。

これを受けて、広島市では、急性脳炎の患者(疑義が払拭できない者を含む)を診察した場合は、直ちに最寄の保健センターへ届け出ていただくよう各医師会に要請しています。

また、スギヒラタケは食用キノコとして摂取されていますが、腎機能が低下している方に対してスギヒラタケの摂取を控えるよう注意喚起を行っています。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2004年第43週(10月18日～10月24日)